

## 遊びの指導 学習指導案（略案）

令和2年12月18日金曜日 3校時 場所：4学年教室

小学部4学年 男子3人 女子2人 計5人

指導者 CT：川満範子 ST：大道瑛司

### 【育てたい資質・能力】

- ・「身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。」特支小学部1段階
- ・「日常生活でよく使われたりする平仮名を読むこと。」特支小学部2段階
- ・「相手に伝わるよう、発音や声の大きさに気を付けること。」特支小学部3段階

### 【育っている資質・能力】

- ・机や椅子、ロッカーなどに貼ってある文字は、自分の名前であることを理解している。
- ・ひらがなの歌を口ずさんだり、文字なぞりをしたりとひらがなに興味を示してきた。

### 1. 単元名 ひらがなを楽しもう！

### 2. 単元の観点別目標（評価規準）

- (1) 遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむこと。【知識・技能】
- (2) 簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。【思考力・判断力・表現力】
- (3) 文字に興味を持ち、声に出して読むことができる。【主体的に学習に取り組む態度】

### 3. 学習計画と評価計画（1学期より毎週1時間継続して指導を行う）

	主な学習活動	評価の観点		
		知・技	思・判・表	主体的
年間を通して指導	「ひらがなの歌」の動画を見ながら楽しく歌う。		◎	
	乾燥わかめを使って、舌の体操をする。	◎		
	口形模倣や身体リズム運動をしながら、母音の発音の練習をする。	◎		
	ひらがなカード（母音）を読む。		◎	
	自分の名前カードを並べる。		◎	
	☆カルタ遊びをする。		◎	◎
	☆ひらがなパズル遊びをする。		◎	◎

※☆印は、児童が飽きずにひらがなを楽しむことができるよう入れ替えを行う。

#### 4. 単元の個別目標

観点 氏名	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
A	・正しい口形で発声・発音することができる。	・自分で平仮名カードやカルタの絵札を取捨選択することができる。	・友達と関わりながら、学習に参加することができる。
B	・声に出すことができる。	・自分で平仮名カードやカルタの絵札を取捨選択することができる。	・友達と関わりながら、学習に参加することができる。
C	・正しい口形で発声・発音することができる。	・自分で平仮名カードやカルタの絵札を取捨選択することができる。	・友達と関わりながら、学習に参加することができる。
D	・正しい口形で発声・発音することができる。	・自分で平仮名カードやカルタの絵札を取捨選択することができる。	・友達と関わりながら、学習に参加することができる。
E	・相手に伝わりやすい声の大きさを出すことができる。	・自分で平仮名カードやカルタの絵札を取捨選択することができる。	・友達と関わりながら、学習に参加することができる。

#### 5. 本時の学習

##### (1) 本時の目標

- ①約束を守って、カルタ遊びを楽しむことができる。

##### (2) 本時の展開

	学習活動	評価の観点	教師の指導及び支援及び配慮事項	備考
導入 5分	○はじめのあいさつ  ○「ひらがなの歌」の動画を見ながら楽しく歌う。		・「ひらがなの歌」で児童の意欲を引き出す。	・パソコン ・HDMI ・「ひらがなの歌」
めあて：約束を守って、カルタ遊びを楽しもう				
展開 33分	○教師の口形模倣や身体リズム運動を見ながら、母音の発声練習をする。  ○カルタ遊びを楽しむことができる。	【思・判・表】 【主】	・母音を一音ずつ確認することで、正しい発音意識させる。 ・発声が難しい児童には、隣で支援をし、口形や身体リズム運動を意識させる。  ・カルタ遊びの約束を確認する。 ・読み札をしっかり聞くように言葉かけをする。 ・分からない文字は、ヒントカードで確認する。	・ひらがなカルタ
まとめ 7分	○授業の振り返り  ○おわりのあいさつ		・めあてを確認しながら、活動で楽しかったことや良かったことなどの振り返りをする。	